

月刊島民

中之島

Vol.79 2015 2/1

●Padサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン

大阪市立科学館の25年。



ナカノシマ大学

「古地図ウォーカー、
大阪をゆく」

本渡 章

申し込み受付中!



島民の証言と共にふり返る

大阪市立科学館の25年。

取材文／大迫力
写真協力／大阪市立科学館

昨年10月、中之島にある大阪市立科学館はめでたく25周年を迎えた。子供から大人まで、多くの人に愛され、年間入場者数は70万人を超える。今やすっかり人気スポットとなったが、その道のりはどんなものだったのだろうか。関係者の証言を集めながら、その歴史をたどってみる。

1937



大人気だった 四ツ橋の電気科学館。

大阪市立科学館の歴史は、かつて四ツ橋にあった電気科学館から始まる。昭和12年（1937）の開館当時、科学原理を専門にした博物館は日本になく、東洋初のプラネタリウム「カールツァイスⅡ型」①を備えた先進性は人々の心をときめかせた。「電気」そのものが一般家庭に普及し始めたばかりの時代に、最先端技術を目の当たりにできる電気科学館はたちまち大人気を博した。

瓦町にある「平岡珈琲店」のマスター・小川清さんは、淀屋橋にあった旧愛日小学校に通っていた昭和40年代に電気科学館をよく訪れたそうだ。

証言1 「半ドン」だった土曜は授業が終わるやいなや、ランドセルを背負ったまま友達と連れ立って向かいました。人気があった市電や地下鉄の運転台はいつも取り合い。電話の仕組みを解説するコーナーでは友達の家になら電話をかけたり（笑）。おとなしく座って聴くのが苦手という子もいましたが、私はプラネタリウムも好きでした。絶妙なタイミングで駄洒落を挟んだり、とても良い声で解説してくれる方がいたことを覚えています」

ちなみに、そのプラネタリウムに魅了された一人に、かのマンガの神様・手塚治虫がいたことは、月刊島民でもお伝えした



大阪市立科学館の開館を告げるポスター。「今始まる新しい「宇宙とエネルギー」の世界」とのキャッチコピーが。



②開館を前にした電気科学館。最後を飾る「さようなら電気科学館展」には坊主頭の男子たちもこぞって駆けつけた。



①電気科学館のシンボルと言えばこの「カールツァイスⅡ型プラネタリウム」。現在も科学館内に展示されている。

通りである（2014年7月号）。

長らく愛された電気科学館だったが、建物の老朽化もあり、後継施設である大阪市立科学館へバトンタッチされることとなった②。新しい科学館の建設は大阪市政100周年記念事業として計画され、土地は大阪市に譲渡されていた旧大阪大学理学部の跡地を使用し、建物や設備などは関西電力によって寄贈された。こうして平成元年（1989）10月7日、中之島に大阪市立科学館が誕生した。

1989



学芸員と共に、 大阪市立科学館の船出。

新しく建てられた科学館は地上4階・地下1階建てで、4階から1階に展示場が、地下1階には直径26・5mのプラネタリウムドームがあった。その他、屋上には当時市内最大の直径50cmの反射望遠鏡を備えた天文台も設置された③。

開館時からさまざまな企画展示やプラネタリウム投影を中心とし、科学教室や天体観望会を展開。また、学芸員が自ら科学実験を行う「サイエンスショー」も初日から始まっている。そのスタートはすこぶる順調で、初年度は半年間で47万人、翌年度は70万人もの入場者を集めた。

そんな中、電気科学館でプラネタリウム投影をしていた3名の職員が学芸員として採用されたのは幸いだった。経験豊富な職員がいることで、これまでに培ったノウハウを蓄積すること

にもつながったからだ。この時に新たに導入された学芸員制度が、科学館にとって大きな意味を持つことになる。

電気科学館時代からの職員で、学芸員を経て前館長も務めた加藤賢一さんが語る。

証言2 「勤め始めた昭和49年（1974）当初は企業から寄付された展示物が多く、職員はその維持管理をしていれば良かった。ところが他の科学館が人気を博してくると、並べただけの展示場では飽きられてしまう。そこで私も含めプラネタリウムを投影していた職員たちが、職員の学芸的資質と個性を養おうと声を上げたのです。とは言え博物館や美術館の学芸員制度を視察し、改めて自分の専門分野を勉強するなどの準備が大変で、結局市立科学館のオープンに合わせた15年越しの実現となりました」

以後、専門知識もキャラクターも豊かな学芸員の元には自然に資料や情報が集まるようになり、個性がにじむ解説やショーにはファンが付いてきた。電気科学館から受け継いだ「自分たちが面白いと思うものを、自分たちで集めて来よう」（加藤さん）というDNAは、ずっと受け継がれていくことになる。

1992



開業景気はあっさり終了。試行錯誤の日々が続く。

さて、いきなり年間70万人もの入場者数を記録した大阪市立科学館だったが、科学館の宿命とは言え、その進歩に対応する難しさも抱えていた。パネルやビデオの説明型展示の情報は古くなり、その影響が入場者数にも直結。開館4年目の平成4年度（1992）の入場者は62万6000人となってしまった。そこで早くも行われた第1次展示改装では、「見て、触れて、操作する」をキーワードに、実物資料や実験を通して科学の原理



④開館間もない頃に撮影された航空写真。手前に見えているのは阪大医学部。敷地が前の道路と直結していて、今よりもずいぶん街に近い感じがするのは気のせいかな。



④平成11年の第2次改装完成を記念した「大英科学博物館展」。意気込んで多数の資料を集めたが…。



③サイエンスショーは開館当初から行われていた。直に接するお客さんの反応が、何よりの指針となった。

原則を学べる体験型装置を大幅に増やしている。

人気の回復を目指して、90年代後半は独自企画を次々に打ち出していく。こどもの日に合わせて行った「科学のプレゼント」では、蒸気機関車を走らせ、子供たちに大人気（1997年）。さらに、トランジスタ発明50周年を記念した「半導体・半世紀」（1997年）、奈良原キトラ古墳の石室壁画発見に合わせた「キトラ古墳と中国の星座」（1998年）、ハワイに建設された世界最大級の望遠鏡関連のイベント（1999年）など企画の幅を広げていった。

またこの時期、プラネタリウムでは小学校高学年と中学生向けの学習投影がスタート。現在と同じ11名に増員された学芸員が専門分野について講座を行う「科学館ゼミナール」も始まっている。このように学芸員たちが専門性を活かして奮闘するものの、なかなか入場者数には結びつかなかった。そんな中、開館10周年の平成11年（1999）に第2次展示改装を迎えることとなる。

1999



第2次改装で痛感した、「お客さん目線」の大切さ。

第2次の改装では特に資料展示に力を入れた。その中心となったのが現在も4階にある「サイエンスタイムトンネル」だった。古代から20世紀初頭にかけての科学の発展を追いかけていくもので、偉人たちの大発見を体感できる実験装置も含まれている。「本物」にこだわって、リニエールオープン記念した企画展④では、ニュートンの発明した反射式望遠鏡のレプリカをはじめ24点の貴重資料を大英科学博物館から取り寄せた。ところが、蓋を開けてみるとこの企画は意外にも不評だった。学芸員として携わった現館長の齋藤吉彦さんは、その原因をこう分析する。

証言3

「世界的に有名なものばかりなのに、ほとんど誰も見ない。なぜかと言うと、それを見て面白がっていたのは

我々なんです。いろいろ工夫もしたけど全然ダメでした。結局、自分が見たいものを集めただけだったんです。お客さんが何を望んでいるのかを研究しなければいけないと身をもって経験しました」

喜ぶのは自分たちではなくお客さん—このことは、その後の活動にとって大きな教訓となった。とはいえ、展示改装などそう度々できるものではない。真っ先にその姿勢を発揮できたのは学芸員自らが行うサイエンスショー^⑤だった。お客さんを目の前にしたショーは、何が求められているかを知る絶好の機会でもある。人前で喋るのは苦手だったという斎藤さんも、「やっぱりウケると嬉しくて（笑）。回を重ねるうちに、見ている人がどこで目を輝かせるかがわかってくるんです」。

どうすれば科学を楽しんでもらえるか？ サイエンスショーでの工夫の積み重ねは、「お客さん目線」を展示改装や新たなアイデアへ活かすことにもつながっていった。館長となった今、斎藤さんがこの展示改装の経験を「転機」として振り返るのはそのためである。

2003



プラネタリウム改装で 人気がV字回復！

大阪市立科学館にとって、2003年から2004年にかけてのプラネタリウムの全面リニューアルは、人気回復の大きなきっかけとなった。

それまでのプラネタリウムは地球上から見た星空をドームの天井に投影するものだったが、デジタル全天周映像装置^⑥を導入することで宇宙のあらゆる場所の光景を表現できるようになった。科学が解き明かした宇宙の誕生もブラックホールのそば



⑥新装なったプラネタリウム。デジタル化によって一気に人気を取り戻す切り札となった。フランス製のふかふかりクライニングシートの評判もすこぶる良い。



③アウトリーチ活動の幅は広がり、昨年には「あべのハルカス」でも。「七夕天体観測会」が行われた。



⑦2006年、大阪市役所ロビーでの移動式プラネタリウムを皮切りに、アウトリーチ活動が始まった。

の光景も、映像で見せられるようになったのである。

2006年にはさらに新たな機器を導入し、上映する番組の大半を内製できるようになった。事前準備が必要だった映像演出もその場でできるようになり、学芸員によるライブ解説を一気に増やすことができた。

リニューアルを経て、「自分たちのやりたいことができるようになった」と話すのは天文系の学芸員の渡部義弥さんだ。

証言4 「リニューアル前は録音した解説を流すオート投影になっていた。番組が多く、せっかく前半のライブ解説で盛り上げても『後半は途端につまらなくなる』と言われたり。リニューアルによって、番組作りや演出方法や解説の内容など、毎日見

つかの課題に柔軟に対応できるようになり、お客さんの心に染みこむ投影ができるようになったと思います」

これを機に、低迷していた入場者数はV字回復。特に大学生から30代の個人来館者が増えており、「ふかふかのシートに寝転んで見るのが気持ちいい」というリピーターも登場した。

2006



より多くの人に 「開かれた」科学館へ。

2006年に始まったアウトリーチ事業は、科学館人気の再興を象徴する出来事でもあった。これは科学館の活動を館外でも展開するもので、その最初は大阪市役所のロビーで開かれた移動式プラネタリウム^⑦だった。以降も大阪市内外の学校・公民館・商業施設などさまざまな場所へ出向いている^⑧。言わば「出張科学館」であり、「うちでもやってほしい」というリクエストに応えたもので、科学館や学芸員への期待が高まっていたわけだ。

プラネタリウムだけでなく科学工作教室や出張サイエンスショーなども合わせて行うようになると、だんだんと学芸員だけではマンパワーが不足するようになってきた。そこで最近では、学芸員による研修を受けたデモンストレーター（P7）と呼ば

れる市民ボランティアスタッフが、アウトリーチ活動を担うようになっていく。

こうしたボランティアの活躍は、その前年のサイエンスガイド制度（P6）から始まっていた。サイエンスガイドとは館内の展示解説をメインに担当するボランティアで、メンバーは公募され、初年度はわずか6名だったが、昨年時点では60名にまで増えた。当初は展示場の案内や展示物の操作を教えたりするだけだったが、最近ではテーマごとの展示場ツアーや英語ガイドも行うなど、活躍の場をどんどん広げている。

科学館の外へ出向くアウトリーチ活動も、市民ボランティアを募集して自分たちの持つリソースを広めようとするのも、より多くの人に対してオープンであろうとする点で共通している。大阪市立科学館が醸し出す何となく親しみやすいイメージは、こうした開かれ方にもあるような気がする。

2009



ブームを追い風に、 企画力と発信力アップ。

2009年は日本で皆既日食が見られる天文イヤーで、大阪市立科学館でもスペシャルイベントを開催した⁹。7月22日の朝には館前の広場に5000人も人が集まり、観察用のグラスを持って一斉に空を見上げる様子は大きく報道された。この年に発売された、江戸時代の天文暦学者・渋川春海を主人公にした小説『天地明察』（沖方丁・角川書店）がベストセラーとなり¹⁰、天文ブームとも言われる中、それに拍車をかけたのが2010年の小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還だった。

ちょうどこの時、科学館では自ら企画・制作したCG映画『HAYABUSA-BACK TO THE EARTH.』を上映中だった。科学館の学芸員で、この作品の総合プロデューサーでもある飯山青海さんは、月刊島民の取材にこう答えている。

証言5

「最初あまり注目されませんでした。帰還後は大注目浴び、ありがたいことに今では全国各地で上映さ



⑪「はやぶさ」帰還にちなんだ特別公開イベントも大成功（2012年）。今や「次は何を？」の期待が注がれている。



⑩2011年の「天地明察」ナイトでは小説を題材にオリジナル浪曲を春野恵子さんが披露。高感度な企画力が光る。



⑨最近の天文ブームのきっかけとも言える2009年の皆既日食の際には5,000人が大集合。あの独特のデザインの観察用メガネをかざして、みんなで盛り上がった。

れています」（2011年7月号）

飯山さんはJAXA（宇宙航空研究開発機構）の帰還カプセル回収チームの一員としてオーストラリアに派遣され、はやぶさ帰還の映像撮影にも成功。これにちなんで開催した「おかえりはやぶさ」帰還カプセル特別公開^⑪には、5日間で3万4000人が来場。以後はすっかり天文ファンの心を掴んだようで、記憶に新しい2012年5月の金環日食時の特別観望会には、2009年を上回る7000人を集めた。

この他、2011年から毎年刊行している、学芸員のキャラクターを活かしたオリジナルのミニブックにも注目が高まっている。その第一弾となった岳川有紀子学芸員の『自由研究サポートブック』は増刷に増刷を重ねる人気なのだそう。

証言6

「ここ数年好調なのは今まで実績を積んできた成果だと思います。今後はさらにそれを発展させ、普

通に楽しむのではなく鳥肌が立つくらい感動していただきたい。そうすると周りの人に話してくれそうです。今はまだ科学館のなかだけで喜んでもらっているレベル。科学館の外でも科学の花が咲くように、そしてそれによってまた人が来るように。科学を楽しむ文化の振興が私たちの使命ですから、深い思考に結びつく感動へ持って行きたいですね」





科学館のツウが案内する

大阪市立科学館の歩き方。

取材・文／石原 卓
江口由夏(共に本誌)

展示にプラネタリウムに実験ショー……多すぎる見どころから、自分なりの楽しみ方を見つけるヒントをご紹介します。

4階から1階まで。どこを見る? どう回る?

展示 Exhibits

展示場の案内人、「サイエンスガイド」。 初心者は迷わず頼ってみるべし。

サイエンスガイドとは、館内の展示について案内してくれるボランティアガイドのこと。「文字や展示物を眺めるだけでなく、どんどん私たちに質問してください」と話す最年長の田川俊正さんは、総勢60名のメンバーをまとめる頼れるリーダー。新人ガイドの指導のため、展示解説や「プチサイエンスショー」の手引書も製作している。このショーこそサイエンスガイドの見せ場であり、市立科学館独自のもの。

点在するワゴンを見つけたら、ガイドに声をかけてプチ実験を披露してもらおう。

「例えば、プラネタリウムの待ち時間にちょっとだけ回りたいという時、望遠鏡の展示だけ知りたい時、私たちがカスタマイズツアーを組み立てて案内しますよ」。どのガイドも手助けをしてくとうずうずしている。積極的にリクエストを投げかけてみるのが、科学館との距離を縮めるカギのようなのだ。

トレードマークは、青いベストです



田川さん(左)のおすすめは、4階の火起こし実験。3階の鉱物実験では、鑑定人の気分が味わえる(右)。

サイエンスガイドは、フロアごとに2〜3人が待機。装置の扱い方や、科学の小ネタも教えてくれ、子どもの遊び相手にもなってくれるとお母さんも安心。2年に一度の新人募集は約4倍の倍率を誇る人気で、現役大学生の応募も毎回安定して多い。

本誌編集者・石原卓が指南する、 オトナのための上級活用術。

「科学館は子どもたちのものだ」って誰が言った? 実はオトナにこそ行ってほしい癒し満載、そして好感度満点のスポットでもあるのだ。デート使いなら「無邪気度アピール」の大きなチャンス。大切なお客様とでも「生真

面目さと純真さ」を伝えて好感度アップと、その効果は多様だ。

まずはエントランスの学天則を仰ぎ見て「でっかいなあ…」から始まる展示ツアー。ここではオトナが癒されるアピール度満点のオモシロ展示を

石原 卓(本誌) 市立科学館の「友の会」会員。遊び場として活用するヘビーユーザーで、デートから接待まで科学館を別の意味で知りつくす。

ピックアップ。プラネタリウムのチケットをゲットしたら、しばしの待ち時間を展示巡りに充てるのが科学館通の定番だ。

月に一度はココで、リフレッシュしてまへす!



4F惑星大きさをくらべ

エレベーターを降りてすぐ。プロローグにふさわしいシンプルかつ壮大な展示。「地球ってこんなに小さいんだね」と哲学風に想いを馳せるのがキメテ。



4F力くらべ

カップルに特にオススメな“密着度アップ必至”のラブリ展示物。ハンドルを握りつつ、勝ったり負けたりしながら、いつしか親密度が高まるのだ。



4Fアーチ橋

石原的ナンバーワン展示。物理で習ったんだろけれど、やってみるとけっこう不思議。面倒臭がらずに作ったり崩したりを繰り返してマメ度をアピールしよう。



4F偉人たちの記念撮影

フィジカルに展示を楽しんだ後は、ここで休憩しつつの記念撮影。1階の学天則と共に「科学館なう!」なベスト・フォトスポットはココ。



4F→3F下りエスカレーター

吹き抜けに展示されているグライダーが最もよく見える場所。「これに乗って、どこか行ってみたいなあ」などドリーマーな演出が可能。



1Fミュージアムショップ

童心に戻ってはしゃぎながらの物色タイム。星座盤も各種あってお土産にもグッド。個人的には種類豊富な宇宙食の食べ比べがオススメ。



やっぱり科学館の花形はこちら。

プラネタリウム Planetarium

最年少学芸員が教える プラネタリウムの味わい方。

現在投影中の「オーロラ」を企画したのは、最年少学芸員の西野藍子さん。システムエンジニアを務めた後、2010年に学芸員となった。そんな西野さんが明かすプラネタリウムの楽しみ方とは？

「各学芸員で工夫のしどころが違います。飯山さんなら実際の星空を見ているようなりアルな魅せ方。嘉数さんは浪花言葉を大事にしながら解説しています」。筋が決まっているから、

端々に個性が滲む。西野さん自身は「美しさに浸ってもらえるよう、一緒に感嘆できる空気を作っている」とのこと。自らも科学館のファンだった西野さんならではの、お客さんの気持ちに寄り添った演出だ。

「学芸員個人にもファンがいて、『石坂さんの投影は何時から?』という電話をもらったり」。西野さんの解説はここが違う、なんて言えてしまうのが、真のプラネタリウムマスター？



4階の天文系エリアでは、西野さんが企画したオーロラ写真展も開催中。プラネタリウムと合わせて鑑賞したい。

お気に入りの学芸員を見つけてみてください



プラネタリウムの投影の内容は約3ヶ月ごとに入れ替わる。番組内容や担当学芸員は、ウェブサイトでも確認可能。西野さんは天体観望会の担当でもあり、2月28日(土)実施分の申し込みを受け付け中(2月18日必着)。



島民のみなさんも一緒に活動しませんか？

科学の現場が目の前に!

サイエンスショー Science Show & エキストラ実験ショー

学芸員をサポートする頼もしい味方。 「科学デモンストレーター」に注目。

学芸員によるサイエンスショーは、開館当時から続く長寿コンテンツ。実験が成功する度に目を輝かせる子供たちと、ドヤ顔の学芸員。来場者と学芸員の距離が最も近くなる時間だ。

2010年からはサイエンスショーの合間に、「エキストラ実験ショー」も実施。担当するのは科学デモンストレーター、通称「デモスト」。1年間の研修を受け、ボランティアとして携わっている。表の顔(?)はさまざまで、

会社員や弁理士もいるそうだ。

学芸員のサイエンスショーを見学して練習を重ね、メンバー同士で実演し合って意見交換を行う「実験道場」も開催。昨年からデモストだけのイベント「We are, 科学デモンストレーターズ」を開くなど、人気・実力共に上昇中なのだ。アイドルよろしくお気に入りメンバーの成長ぶりを見守っているのも、(かなり)通な鑑賞法かもしれない。

エキストラ実験ショーは、1日に2~4回実施。館外でも活躍するデモスト(P5)は、学校や百貨店といった施設で出会うことも。写真は左から、2期生の木村友美さん、益都子さん、奥出恵子さん。来期生の募集は今年の3月頃から始まる予定。



昨年12月23日に行なわれた、デモストが主役のイベントは大盛況。ショーの道具を模した土産も好評だった。



サンシャイン江越こと
江越 航さん [天文学]

最近の研究テーマ／科学館周辺の気象観測
2.細胞や遺伝子の動きが、よくCGで紹介されているけど、どうしてわかるのか?
3.明日の天気が分かるのも、科学のおかげです。知るは楽しみなり、科学を知るとは、それだけ人生を豊かにしてくれます。
4.科学的な手法、考え方について、特に身近な気象現象に関するを通して、提供していくこと。



プラスチック・クイーンこと
岳川有紀子さん [化学]

最近の研究テーマ／虫が作るプラスチック「シェラック」に注目
1.お客様に、目を輝かせて「へー」と言っていたとき。
2.なぜ豆腐は冷凍できないのか? (子どもの離乳食で失敗して気づく...)
3.科学を知らなくても生きていけるけど、科学を知っていると、人生が何倍か楽しくなることがいっぱいの魅力!



ヒストリーキング・カズこと
嘉数次人さん [天文学]

最近の研究テーマ／科学の歴史、時に江戸時代の人の自然探求
2.徳川吉宗は天文マニアだったという話だけど、なぜ宇宙に興味を持ったのだろうか??
3.先入観を持たずに、自然現象そのものや先人科学者たちの足跡を気長にじっと見てみると、何か面白いものに気付くと思います。
4.科学や自然の面白い点をもっとたくさん知り、多くの人たちに伝えて楽しみを共有できるように頑張ります。



IT系天文ウーマンこと
西野藍子さん [天文学]

最近の研究テーマ／情報通信技術の歴史と宇宙開発への応用
1.天文現象をお客様と一緒に体験し、その感動を共有できた時。
2.電波も人間の目で見られたら、世界はどんな景色をしているのか?
4.大阪の夜空を楽しむ人がもっと増えるような活動をしていきたい。

学芸員たちが考えていること。

個性豊かな大阪市立科学館の学芸員たちは、日頃どんなことに興味を抱き、仕事に活かしているのだろうか? 目の付けどころがちっと違う声をヒントに、サイエンスのある楽しい生活を始めてみては。

Question

- 1.**一番楽しいと感じるのはどんな時? **2.**最近気づいたふとした疑問は?
3.サイエンスの魅力と楽しむコツは? **4.**学芸員としての今後の目標・テーマ



ブーメランのヒロシこと
大倉 宏さん [物理学]

最近の研究テーマ／アーク灯などの照明、放射線測定
1.科学教室やサイエンスショーのお客様に喜んでいただけの時
2.ウイルスの結晶って豆腐のように柔らかいそうだけど、実際どうなんだろう。
3.あれこれ楽しく考えることでしょか
4.電気、照明関係



Dr.ギャラクシーこと
石坂千春さん [天文学]

最近の研究テーマ／絵画(特にゴッホ)に描かれた星を天文学の観点から推測
1.本を読んだ方からサインを求められたり、プラネタリウム投影で拍手をいただく、この上なくうれしいです。
2.「月の横30cmくらいのところにある星は何ですか?」と聞かれることがあります。空にあるものを「Ocm」という時、どのくらい離れていることを指しているのか...?
4.人間も地球も星も宇宙の住人です。「とても長い歴史、とてもつくなく広い空間をもつ宇宙の中の人間」という意識が広がるような活動をしていきたいです。



フレイバー小野こと
小野昌弘さん [化学]

最近の研究テーマ／金属や香り、結晶に関する資料の収集と調査
2.雪の形って改めて素敵だな。その仕組みがたいぶ理解されていますが、それでもいろいろ雪の形ができることが不思議だし、自然ってすごいと思います。
3.分からないことを分かってほしいと思い、解き明かしていくところでしょうか。また、化学をやっていると、いろいろ物が変化していき、色、形、におい、機能など最初とは違うものができること、またその過程を見られるのも魅力です。



レインボー長谷川こと
長谷川能三さん [物理学]

最近の研究テーマ／大阪湾の気圧観測
1.共感を得ること。自分が「面白い」「なぜ?」と思ったことについて、共感してもらえるといいですね。ただ、そのためには、なぜそれが面白いのか、なぜそこが不思議なのかなどもわかってもらわないといけない。
2.例えば、進化して今みたいに首の長いキリンになると生存競争に勝つメリットもあるのですが、進化の途中で中途半端に首が少し長いキリンは果たして有利だったのだろうか? というように、進化の途中の生き物って、生存競争に有利だったのかな?



コスモ渡部こと
渡部義弥さん [天文学]

最近の研究テーマ／フーコー振り子、天文工作教具の開発
2.レーザー光線を、食べられるゼリーをたいて発生させることができるという情報に興味津々。
3.サイエンスは宇宙すべてに共通であり、人間の都合に左右されないこと。好奇心を全開にして、何でも知りたがり、試してみることに。
4.星の時間を、あらゆる人が持てるように、活動を高めていくこと。



シューティングスター飯山こと
飯山青海さん [天文学]

最近の研究テーマ／流星群や彗星の活動
1.実際に流星群や彗星を観測している時
2.自動車の運転で、積雪路でもできるだけスピードを落とさずに、スリッパせずにカーブを曲がるにはどういったテクニックが使えばいいのだろうか?
3.何かの情報を知った時に、鵜呑みにせずに、本当にそうなのかなと疑ってみる。
4.73P/Schwassmann-Wachmann (シュワスマン・ワハマン第3彗星)の崩壊過程の追跡と、それに伴う大流星雨の発生を追うこと。

大阪市立科学館

観覧料(展示場)／大人400円 高校・大学生300円 中学生以下無料 観覧料(プラネタリウム)／大人600円 高校・大学生450円 3歳以上中学生以下300円
 開館時間／9:30AM～5:00PM(展示場入場は～4:30PM、プラネタリウム最終投影は4:00PM～)※延長する場合あり 休館日／月曜日(連休の場合は開館し、翌平日に休館) ☎06-6444-5656(代表) <http://www.sci-museum.jp/>



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

古地図をヒントに
大阪の地名を考える

◎今月の授業

【古地図】

2015年3月講座

「古地図ウォーカー、 大阪をゆく」

第9回 十三と幻の川の謎。

講師／本渡 章(作家)

上流から数えて13番目の渡し。
だから地名を「十三」という。
その川と渡しは、さてどこに？

商店街や飲食店街が縦横に連なり、遊びに行く街といった印象の強い十三。しかし、その名前の由来は淀川の上流から数えて十三番目の渡しがあったことに由来する。川と共にある大阪らしい地名だが、ところでその川と渡しは、今はさてどこに。

渡しと言うからには必ず川辺にある。現在の十三も淀川の近くにある。だが、その淀川と、かつて渡しがあった「川」は違うという。それでは幻の川はどこへ？ 現在の十三のにぎわいはなぜ、いつから生まれた？

十三発祥の地には今、何が？ それには新旧の2本の川が深く関わっている。その疑問を古地図が解き明かしてくれる。



今月の1枚
「大正
市街全図」
(本渡章蔵)

大正15年(1926)発行。市街地のすぐ北側に目をやると、今とは違う川の流れと「新淀川」の文字が見える。昭和を目にしたその時、十三エリアで新旧の川が交錯した。大阪北部の風景の変貌を鮮やかに捉えた地図だ。

『大阪古地図パラダイス』を買って、
入場料がお得になります！

本渡章さんのナカノシマ大学シリーズ講座が一冊になった『大阪古地図パラダイス』(1,900円+税)を会場にて販売。お買い上げいただくと、本とセットで4,000円に。受講料がなんと400円引きになります。



「古地図ウォーカー、大阪をゆく」第8回

日時／2015年3月17日(火)

7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)

会場／追手門学院 大阪城スクエア

受講料／2,500円(資料用大判古地図付き)

定員／120名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／関西・大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学3月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

笑う落語の大阪

第十二回 高島幸次

古典落語に欠かせないアイテムの一つに酒がある。『一番煎じ』『禁酒関所』『上欄屋』などなど、酒の登場する噺は挙げ出したらきりがない。ところが、噺の中では数々の呑兵衛が様々な酔態で笑わせてくれるのに、彼らが嗜む酒の銘柄については意外に語られない。

『七度狐』の煮売屋は「村さめ」「庭さめ」「直さめ」を揃えているが、それは「店で呑んでも村を出るころには醒める酒」「店から庭へ出たとたんに醒める酒」「呑む尻から醒める酒」という代物で、銘柄とは言い難い。

呑兵衛が嗜んだ酒は？

『青菜』の隠居が植木屋に勧める「柳蔭」も、味醂と焼酎のブレンドで、夏の冷用酒として好まれたようだが、やはり酒の銘柄とはいえない。江戸後期の風俗書『守貞謾稿』は、

「柳蔭」も、味醂と焼酎のブレンドで、夏の冷用酒として好まれたようだが、やはり酒の銘柄とはいえない。江戸後期の風俗書『守貞謾稿』は、

して、日常的には町村内の地酒を量り売りで買い求めたのだ。

たとえば江戸後期の大坂三郷（天満組・北組・南組）には、459戸もの酒造家があったという。当時の大坂の人口が40万人だとすると4人家族で換算すれば200戸余に1戸の割合で酒造業が営まれていたことになる。

現代の灘や伏見の大酒蔵を思い浮かべてはならない。それでも天満堀

川岸には酒造家が建ち並び、酒造りの季節には、洗米による白水のため、堀川は真っ白に染まったと伝えられている。現在のように、銘柄にこだわるようになったのは、明治後期の一升瓶が普及して以後のことだろう。さて、今宵の晩酌は天神寄席二月席のゲスト、白鷹蔵元の辰馬朱満子さんに敬意を表して、「白鷹」でなければなるまい。

たかしまこうじ
大阪大学招請教授、追手門学院客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

2月は天神寄席で笑って、ほろ酔い気分。

天神天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。2月は今も昔も人々の楽しみに欠かせないお酒がカギ。場をかき乱す酔っ払いの登場で、おかしな方向に進んでしまうネタだらけ。できれば登場人物のような失敗などせず、楽しくお酒を嗜みたいもの。鼎談ゲストの白鷹蔵元辰馬朱満子さんが明かす、飲み方のコツとは。

●2月のお題は「酒」

2月25日(水)

「美酒に笑酔」

落語／林家染左「運付く酒」

笑福亭鶴三替わり目

林家小染「ひとり酒盛」

桂文喬「住吉駕籠」

桂春之輔「鰻の習間」

鼎談／酒に肴、人に噺

桂春之輔

辰馬朱満子 白鷹蔵元

高島幸次（大阪大学招請教授）

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、1800円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じくウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／2月25日(水)

時間／6:30PM(開場6:00PM)／受付開始5:45PM)

受講料／1800円(通常…前売2000円／当日2500円)

支払い方法／当日、現地にて精算

販売期間／2月24日(火)7:00PMまで

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP9を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340

座敷遊びに精通する(?)桂春之輔師匠が、「幫間(男芸者)」を鮮やかに演じる。



あの灘五郷にある白鷹酒造蔵元の辰馬朱満子さんが特別ゲストに。

イラスト／フジワラトモコ

うまさぎっしり新潟



関西人のための

「新潟のええとこ・うまいもん・ゼミナール」

北陸新幹線開業直前スペシャル「いらっしやい！にいがた酒肴の集い」

第5回「美味しい新潟を語りましょう」講師／葉石かおり・中島有香

銘酒と郷土食材&美味トークで最後は「新潟の幸」にひたります。

いよいよ開業に迫った3月14日の北陸新幹線開業で、もっと近くなる新潟。「うまさぎっしり新潟」の地酒と食材の魅力を語り、飲んで、試食できるゼミナール最終回スペシャルを開催します。講師は利き酒師で酒ジャーナリスト&エッセイストの葉石かおりさんと、新潟市在住で日本酒大好きな料理研究家の中島有香さん。最強のツートップが、新潟のスター食材とそれにぴったりのうお酒をガイドしていきます。

地酒はなんと約20銘柄が勢ぞろい。それとベストマッチするノドグロの塩焼き、のっぺ汁、鮭の酒びたし、へぎそばに加え、お楽しみメニューが皆さまのテーブルにお目見えします。

会場は昨年に引き続き、オーブンキッチン併設したグランフロント大阪北館のイベントスペース「Cテラス」。今回は有料かつ立食形式で飲み放題！ですが、椅子席はご用意していませんので、くれぐれも普通に歩いて帰れる程度に楽しませよう。飲み足りない分は、新幹線にて現地です。



はいし・かおり
酒蔵や酒場の取材、日本酒のセミナー・講演多数。著書に『隠れ酒がうまい』（講談社）、『日本酒テイスティングBOOK 西日本編』（権出版社）、『カッコイイ女は「おひとりさま」上手』（PHP研究所）など。『ゆるキャラ』を提唱、ワークライフバランスの大切さを問う。現代女性のおひとりさま事情にも精通。



なかじま・ゆか
大阪市出身。パリで仏家庭料理を学び、東京で料理研究家として活動後、結婚を機に新潟へ。料理教室ほか様々な媒体でオリジナルの家庭料理を提案。新潟で地酒の魅力にはまり、日本酒とおいしさを広げよう料理を考案。利き酒師、新潟清酒名譽達人。著書に『はじめましての日本酒レシピ40』（ニール）など。



●第5回の会場は
グランフロント北館5階キッチン併設のイベントスペース「Cテラス」にて立食形式で。お買い物やショールームめぐりと一緒に楽しんでください。
<http://www.hdc.jp.net/cterrace/>



見ただけでノドが鳴る新潟の地酒と自慢アテの数々。体調万全でお越しください
※料理メニューは変更もあります

「美味しい新潟を語りましょう」

日時／2015年2月25日(水) 6:30PM～8:30PM(開場6:00PM)
会場／Cテラス(グランフロント大阪北館5階)
講師／葉石かおり・中島有香
受講料／4,000円(立食ビュッフェスタイル。お土産付き)
定員／50名
主催／新潟県観光協会大阪観光センター
運営／新潟のええとこ・うまいもんゼミナール事務局

お名前・ご住所・電話番号を明記のうえ、下記までハガキ、ファックス、もしくはナカノシマ大学HP(<http://nakanoshima-univ.com/>)内の応募フォームからお申込みください。ハガキ、ファックスでのお申込みの方は、複数名でご参加希望の場合は人数分の必要事項を明記し、講座名を必ずお書き添えください。〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4F「関西にいかぜ」受付係 tel:06-4799-1340 fax:06-4799-1341 ※締切=2月10日(火)必着。応募者多数の場合は抽選とします。受講料は当選した方のみ、2月16日(月)までに発送します。

第25回

堂島永和ビルディング

本や骨董を互いにオススメ合ったりと、仲良しな内藤さん(左)と坂上さん(右)。



オフィス街の中の意外性。 ビンテージ感でビルが再生。

桜橋交差点からやや南西の一角に建つ、堂島永和ビルディング。大きな窓から光を採り込んだカーテンウォールの外観は、昭和35年(1960)という高度経済成長期にあたる竣工当時、最先端のデザインとして話題になった。

そんな老舗ビルに動きがあったのは2011年。同時期に退室する企業が重なり、オーナー交代を機に改装がスタート。開放的な外観など古さゆえの良さも残しつつ、温もりある木材を多用し、空調設備や照明設備も整えた。フロアの一部を減築した屋上には、利用者の休憩場に加え、テナントが使用するイベントスペースという役割が今年2月に誕生した(右下写真)。



ギャラリーも兼ねる店内(上)と隣室のアトリエ(下)。季節によってレイアウトも試行錯誤する。



本は人生のおやつです!!

古書のほか新刊や雑誌も取り扱う。一人一人にぴったりの本を選んでくれる読書カウンセリングも実施中で、本のセレクトはもちろん、坂上さん自身のファンも多数。「今の一押しは『団地ブック』の創刊準備号。団地愛好家の『チーム4.5畳』が作ったミニコミ誌です」。

☎06-6341-5335 12:00PM～8:00PM(土・日・祝11:00AM～6:00PM) 月曜休



堂島永和ビルディングの目印は、入口にあるインパクト大の看板。どんなお店か確かめたい。



改装を経て、入居者の顔ぶれにも変化が。鉄鋼メーカーや商社といった旧くから拠点を置く硬派な面々に加え、デザインや建築関係のオフィス、古書店にネイルサロン、雑貨店に振付スタジオ…。2階に入る古書店「本は人生のおやつです!!」店主の坂上友紀さんは、このビルの風合いが気に入り、中崎町から拠点を移した。同フロアのネイルサロンと共に、古本市期間限定で童話や古典をモチーフにした「ものがたりDEネイル」を企画。新しい屋上を利用した、ビルを元気にするテナント合同のイベントも考え始めている。

昨年から同じく2階で雑貨店「アントレ・ソルティ」を構える内藤えつこさんも意欲十分。店横のアトリエで、京阪神のマダム&マドモワゼルに人気のフランス額装教室を開き、オフィス街とは縁のなかった人々がこのビルへ足を運ぶようになった。

こうした「ビンテージビル」の人気の高まりつつあるとすれば、オフィス街として年季の入った堂島や中之島のビルには、まだまだ掘り出し物が眠っているということかもしれない。

アントレ・ソルティ

フランス滞在中に現地で知ったクラフトを、レッスンという形で広め始めて15年。ポストカードやオブジェ、お菓子のパッケージまで素材になるテクニックが新し物好きの女性に人気。「2月末まで、店内ではチョコレートやハートがモチーフのバレンタイン額装展を開催中です」。

12:00AM～6:00PM 月曜・日曜休



トウニン月報

2015年2月1日発行

月刊島民のバックナンバーフェア 2書店でやります!



ジュンク堂書店 難波店
杉澤敦子さん



MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店
杉本奈緒美さん

月刊島民のバックナンバーが並ぶフェアが、中之島を挟んで大阪のキタとミナミの2書店で開催される。バックナンバーだけでなく、月刊島民&ナカノシマ大学から生まれた『おせっかい教育論』『大阪

月刊島民バックナンバーフェア

期間/2015年2月1日(日)から
約1ヶ月(なくなり次第終了)

会場/MARUZEN&ジュンク堂書店
梅田店(3階) ☎06-6292-7383
ジュンク堂書店 難波店
人文書コーナー
☎06-4396-4771

※バックナンバーの種類・冊数には
限りがあります。

の神さん仏さん』『大阪古地図パラダイス』『ブラック・ジャックは遠かった』など関連書籍も一緒に並ぶ。この機会にぜひ全タイトル揃えよう。さらに、月刊島民を編集している140Bの本も同時に販売。大阪の地元ネタに特化したものが多く、月刊島民やナカノシマ大学ファンにとってはピンとくる本がきっとあるはず。いろいろな本を手に取り、興味を広げる機会にしてほしい。(大迫力・本誌)

島民企業が フェスティバルタワーで 餅つき大会!

昨年12月18日、中之島フェスティバルタワーにて「中之島蔵出し餅つき交流会」が開催された。中之島エリアで活動する企業によって組織され



ナカノシマ大学の古地図ウォーカーシリーズでもおなじみ(P9)、作家の本渡章さんが新刊『古地図が語る大災害』(創元社)を上梓した。古地図だけでなく、地震や洪水の際に出回った災害図などを手がかりに、いつどこで何があったかの被害の実相を読み解いていく。大阪はもちろん日本のあらゆる場所で大災害は繰り返して起こっており、本書を読めばわかる通り、それは現代の私たちにとって重要な教訓となる。

また、発売を記念して本に即した内容の連続講座も開催される。毎回違うテーマで、各回それぞれに付録教材が用意されているとのこと。古地図を読むだけでなく、わが家や会社の「防災」という観点からも学べることは多いはずだ。(大迫力・本誌)



本渡章さんの 新刊発売記念 セミナー

創元社セミナー
本渡章『古地図が語る大災害』
刊行記念「古地図で読み解く大災害」

第1回:2月18日(水)
「古地図にみる大災害史
一大阪・関西の地震・津波を中心に」
第2回:2月25日(水)
「古地図の具体的な使い方
一居住地は災害に強いのか?
土地の来歴を知る」
第3回:3月4日(水)
「大災害の記憶を読み解く
一古地図の知恵に学ぶ暮らし方」

時間/7:00PM~8:30PM
(受付開始6:30PM~)
会場/創元社本社・4階セミナールーム
定員/50名(先着順・要事前申し込み)
受講料/各回2,500円(教材費込み)
申し込み/創元社ホームページまたは
FAX06-6233-3112にて
(※全3回のうち希望の回を記入)
問い合わせ/創元社古地図セミナー係
☎06-6231-9011



網本武雄さんの 『大阪名所図解』 原画展開催中!

大阪市中央公会堂など中之島のシンボリックな建築をはじめ、大阪の「名所」を線画で図解した『大阪名所図解』。その線画を担当したのは、月刊島民の橋の絵でおなじみの網本武雄さんだ。網本さんの見ごたえ抜群の線画をじっくりと見られる原画展が現在開催中。ペンのタッチの細かい部分までじっくり見られ、線画の持つ奥行きを実感することができる。原画は購入可能なので、気に入った絵を飾ってみてはいかが。

網本武雄『大阪名所図解』原画展

期間/2月12日(木)まで ※無休
会場/スタンダードブックストア心斎橋 B1カフェ 時間/11:00AM
~10:30PM 入場料/無料



き。つき上がったばかりの餅が振る舞われた。中之島コミュニティネットでは、参加企業間の交流や情報交換を図ることで、今後ますます開発が進む中之島エリアにおいて、地域活性化のためのさまざまな

な取り組みが生まれるようになることを目指している。町内会的な「緩やかなコミュニティ組織」として活動していく予定とのことで、餅つき大会はそのスタートにぴったりだったわけだ。(大迫力・本誌)

「よろしければ試飲はいかがですか?」。買物をしていとお店の方がコーヒーの試飲を勧めてくれる。輸入食料品がたくさん並ぶ中でそうするのは、それだけコーヒーの味に自信を持っているからだ。

全国の63店舗で販売される「ジュピター」のコーヒーは、すべて東京の自社工場で焙煎されている。特に気を配っているのはその鮮度だ。生鮮食料品と同等に扱い、焙煎から翌日もしくは翌々日には必ず店頭へ並ぶ。もちろん店頭でも真空パック保存され、細心の注意を払っている。

美味しく、新鮮な コーヒーを届けるために。

[ジュピター] ●コーヒー／輸入食料品



工場では3名の職人が2機の焙煎機を使い、毎日豆を焼いている。一人ひとりの感覚を大切に、目で見て、香りを嗅ぎ、音を聴いて、まさに五感を使って仕上げる。豆の種類は約40種類。ガス火で直火焙煎することで、それぞれの豆の個性を際立たせるように心がけているという。

店の数に比べ、工場は小さい。小規模のようにも思えるが、そのぶん各店舗に対してきめ細やかな対応ができる。それがストックを

コーヒーはオリジナルの「ジュピターブレンド」が200g・460円、より気軽な「ジュピター-Sクラスブレンド」が200g・440円。人気のトリュフチョコレート「ダルタニアン」はカカオ、カプチーノ、オレンジ、シャンパントリュフの4種類あり、いずれも597円。※価格は税込み。すべて時期によって変更の場合あり。

なくすことにもつながり、新鮮なコーヒーを届けることができるのだ。

こちらではコーヒー豆を200gから販売している。大量に仕入れ、効率的に生産することで、なるべく手ごろな価格でコーヒーを飲んでもらえるように努めているわけだ。コーヒーの試飲は創業時から続けているが、

これにはお客さんの好みが変わるという意図と、値段だけでなく安心して買ってもらいたいという思いも込められている。

そのコーヒーと一緒に、輸入菓子やチーズ、ワイン、イタリアンやエスニック食料品など世界中からの輸入食料品が並ぶ。安全性を重視して厳選されたそれらの中でも、最近のヒットはチョコレートの本場であるベルギーから直輸入した「ダルタニアン」のトリュフチョコレート。直輸入によって価格を抑えることができ、手頃なのに美味しいと大評判。中之島のオフィスの3時の定番になりつつある。

祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>

提供 / 株式会社 朝日ビルディング



ジュピター 中之島フェスティバルプラザ店

●中之島フェスティバルタワーB1F

主力であるコーヒーは、オリジナルブレンドのほかストレートコーヒーも含めて種類は豊富。味の好みを伝えれば、丁寧におすすめを探してくれる。輸入食料品は各店舗によってラインアップが変わり、こちらでは中之島の客層を反映してワインコーナーが充実。帰宅前に買って帰るワーカーが多いのだそう。その他、オフィス需要やお土産にチョコレートやお菓子も人気。

☎06-4708-3821 10:00AM~9:00PM 不定休

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店／カベラ書店／紀伊國屋書店 梅田本店／紀伊國屋書店 グランフロント大阪店／紀伊國屋書店 本町店／ジュンク堂書店 大阪本店／ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店／ジュンク堂書店 天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／スタンダードブックストア／天牛塚書店 大江橋店／ブックファースト 淀屋橋店／文教堂書店 淀屋橋店／陸祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイズボット／朝日カルチャーセンター 味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立中央図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町 立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス
- [店舗・医院など]アンドール 本町本店／上野貸自転車／Ultra 2nd／江戸前鰻料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／大西洋服店／OOO(オーオー)／カセッタ／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／グランスイート中之島／黒門さかえ／コモンカフェ／The Court／サトウ花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアルベストコーヒー新聞電ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院 NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャノ／パストラーレ 花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／フレイムハウス／ミニジロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]大阪書店／紀伊國屋書店 京橋店／福島書店／柳々堂／ループル書店 [公共施設・大学関連施設など]大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立図書館／川口基督教会 [店舗・医院など]あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパール／大阪市信用金庫 江戸堀支店／御舟がめ／Calo Bookshop and cafe／写真とプリント店／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワナ／バルビコ／ホテル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂／Books 呼文堂／水嶋書房 くらげモーター／大阪狭山市立図書館／大阪大学企画広報・学芸連携事務局／大阪大学 21世紀記憶堂／大阪大学本部／寝屋川市役所／摂南大学 地域連携センター／郵政考古学会／ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シンパソン／百練／奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 ふるさとの話をしよう。

中之島周辺に集中して立地する県事務所。各地の窓口的な役割だが、最近は一歩進んだPRの動きも。その役割と私たちとの接点をご紹介します。

●『月刊島民』vol.80は2015年3月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行／月刊島民プレス
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社



甘春堂 東店
中之島けい子



粟餅所・澤屋



鶴屋吉信
菓遊茶屋



大極殿
栢園

おけいはん、京の和菓子入門

食べて、つくって、京のこころを味わいに、京阪電車で。

京で和菓子

チャレンジ!
おけいはん

おけいはんが京で奥深い和菓子めぐり!

フォト日記やエリア紹介マップをweb上で公開しています。

詳しくは、京阪電車主要駅のチラシをご覧ください。

チャレンジおけいはん 検索

Facebook @c.okeihan

おけいはん

京阪の
はん、
人。